

はじめに

子どもたちを取り巻く環境が大きく変化し、学校は様々な教育課題への対応を求められています。このような中、山口県教育委員会では、子どもたち「一人ひとりの夢の実現」を本県教育ビジョン推進の中期目標に掲げ、その着実な推進に努めているところです。

平成18年3月には、教育ビジョン後半の集中的プランである「第2期重点プロジェクト推進計画」を策定し、その中の「信頼される学校づくり推進プロジェクト」として、学校評価等の推進や教員の資質向上などに重点的に取り組んでいます。

各学校では、教育活動の改善・充実のため、学校評価や教職員評価等を行っていますが、教育の質の向上を図るためには、こうした評価システムによる取組とともに、学校教育の直接の担い手である教職員一人ひとりの資質能力や意欲の向上を図る取組が不可欠です。

教職員の資質能力向上の根幹をなすものは、教職員一人ひとりが強い使命感のもと、自主的・主体的な研修に努めるなど、生涯にわたって「自ら育っていく」という自己研鑽への意欲を持ち続けることです。

県教委では、平成17年3月に「教職員研修の改善・充実に向けて」と題した冊子を作成し、研修の今後の方向性を示し、教職員のライフステージに応じた計画的な研修の推進に取り組んでいるところです。

教職員研修は、教育研修所や教育庁各課等が実施する校外研修とともに、各学校や教職員が教育目標や課題に応じて行う校内研修が大きな柱です。校内研修は、教職員の資質能力の向上に資するとともに、それぞれの学校が教育目標の実現に向けて、教職員の協働意識を高めたり校内体制を整えたりするためにも重要な役割を担っています。

この「校内研修事例集」は、校内研修に関する様々な実践モデルを提供することにより、校内における研修体制の整備や研修内容の改善を図り、効果的な校内研修が実施されるよう支援することをねらいとして編集しています。

各学校におかれましては、本事例集を十分に活用され、校内研修の更なる改善・充実に取り組まれ、県内の児童生徒「一人ひとりの夢の実現」につながる教育活動の実践に努められることを期待しています。

平成19年2月

山口県教育委員会
教育長 藤井 俊彦